



2024年3月期第1四半期 決算説明資料

2023年8月9日

株式会社 **加藤製作所**

I. 2024年3月期 第1四半期 連結決算概要

- | | |
|--------------------|-------|
| 1. 連結業績サマリー | P.2~3 |
| 2. 連結業績推移、四半期売上高推移 | P.4~5 |
| 3. 連結損益計算書 | P.6 |
| 4. 連結貸借対照表 | P.7 |
| 5. 連結主要品目別売上高推移 | P.8 |
| 6. 連結仕向地別売上高推移 | P.9 |

II. 2024年3月期 連結業績予想

- | | |
|-------------------|------|
| 1. 2024年3月期連結業績予想 | P.11 |
|-------------------|------|

III. TOPICS

- | | |
|--------------|---------|
| 1. TOPICS①~③ | P.12~15 |
|--------------|---------|

①売上高および収益の状況

- ・国内売上高は前年同期比でほぼ横ばいながらも、海外向けクレーンとショベルが好調につき増収
- ・収益性改善と円安効果もあり、営業黒字が定着化

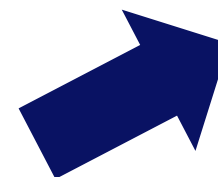
②セグメント別状況

日本：国内向けクレーンは売上高ほぼ横ばい、ショベルは減収
海外向けクレーンは売上高回復、海外向けショベルも増収
中国：厳しい販売環境の継続により、前年度比減収
欧州：堅調な需要に支えられ増収

売上高

13,076 百万円

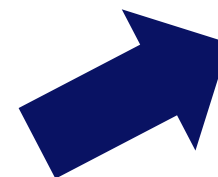
(前年実績 11,685 百万円、前年同期比増減率 11.9%)



営業利益

190 百万円

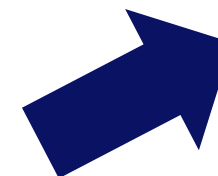
(前年実績 ▲320 百万円、前年同期比増減率 ー%)



経常利益

814 百万円

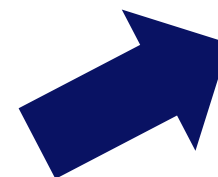
(前年実績 122 百万円、前年同期比増減率 566.0%)



親会社株主に帰属する
当期純利益

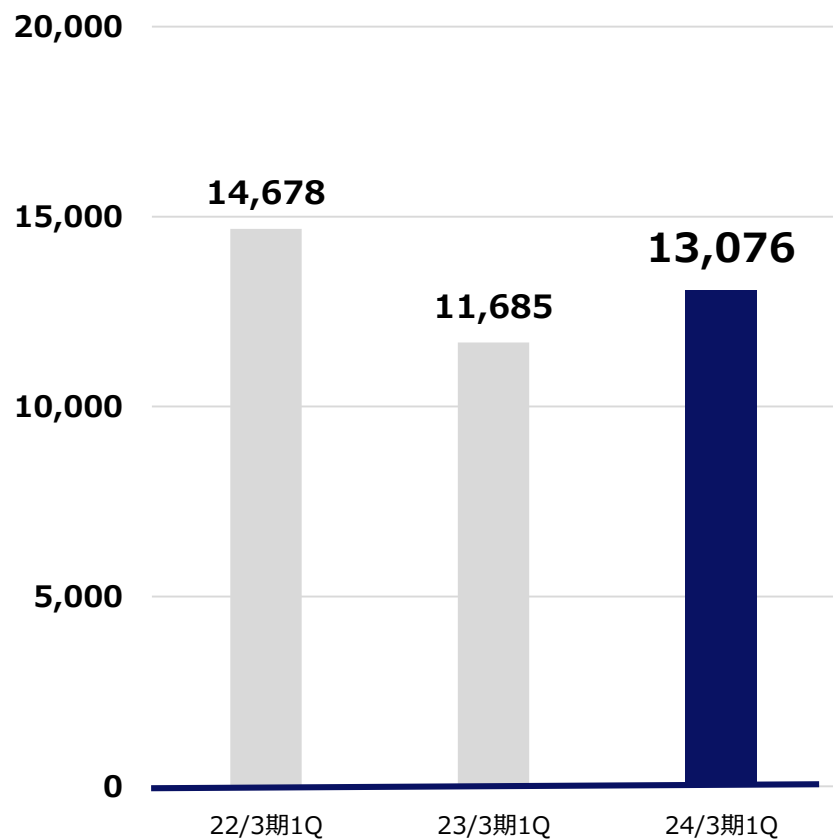
631 百万円

(前年実績 107 百万円、前年同期比増減率 487.4%)

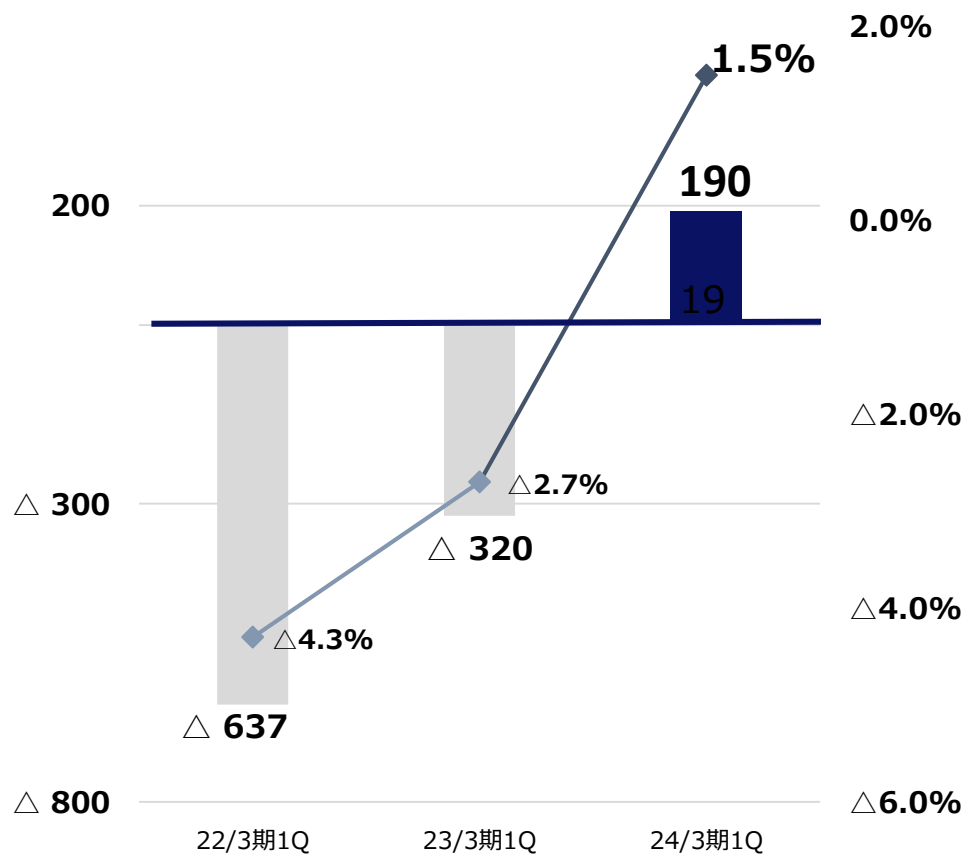


(単位：百万円)

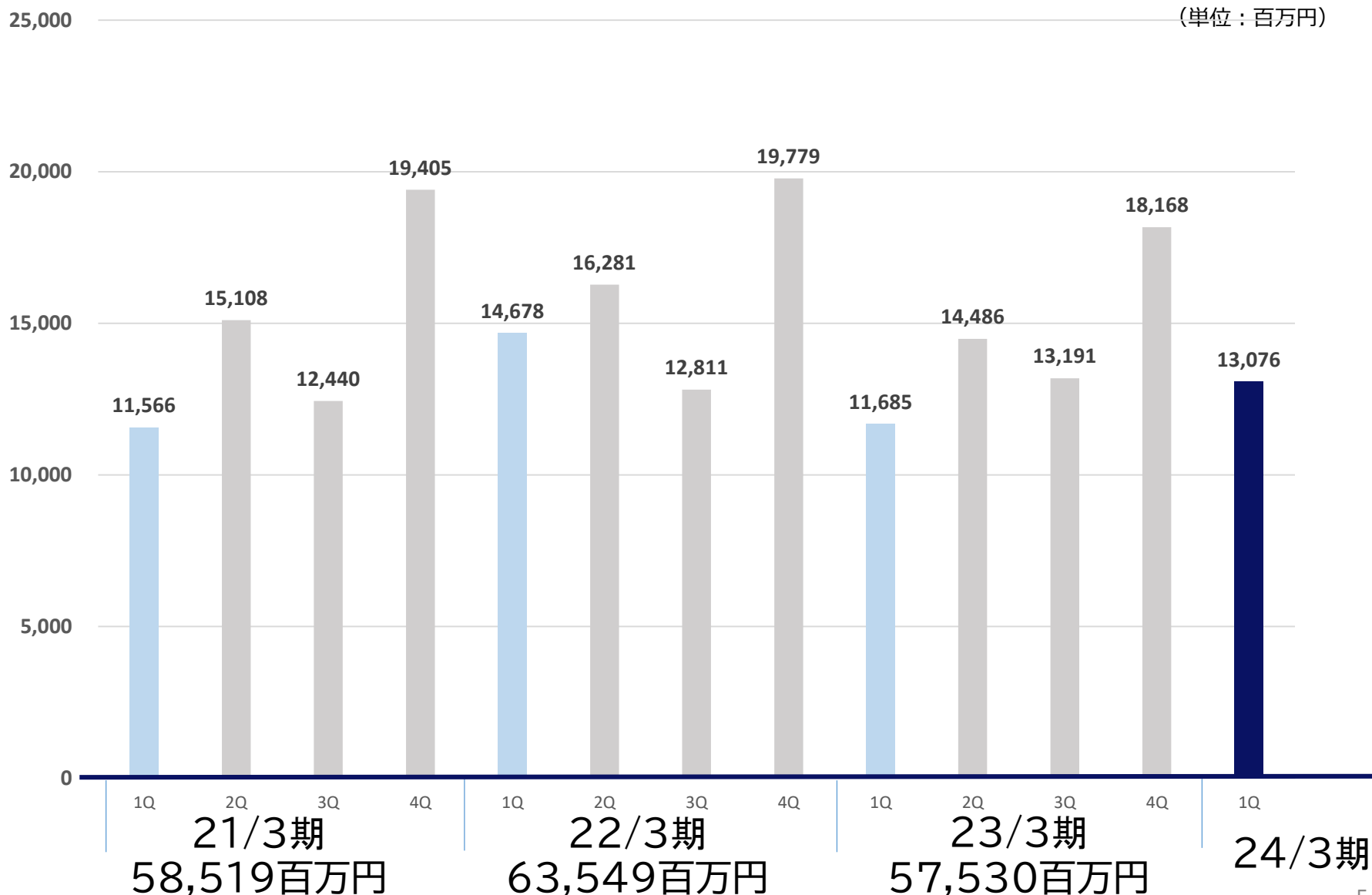
売上高



営業利益・営業利益率

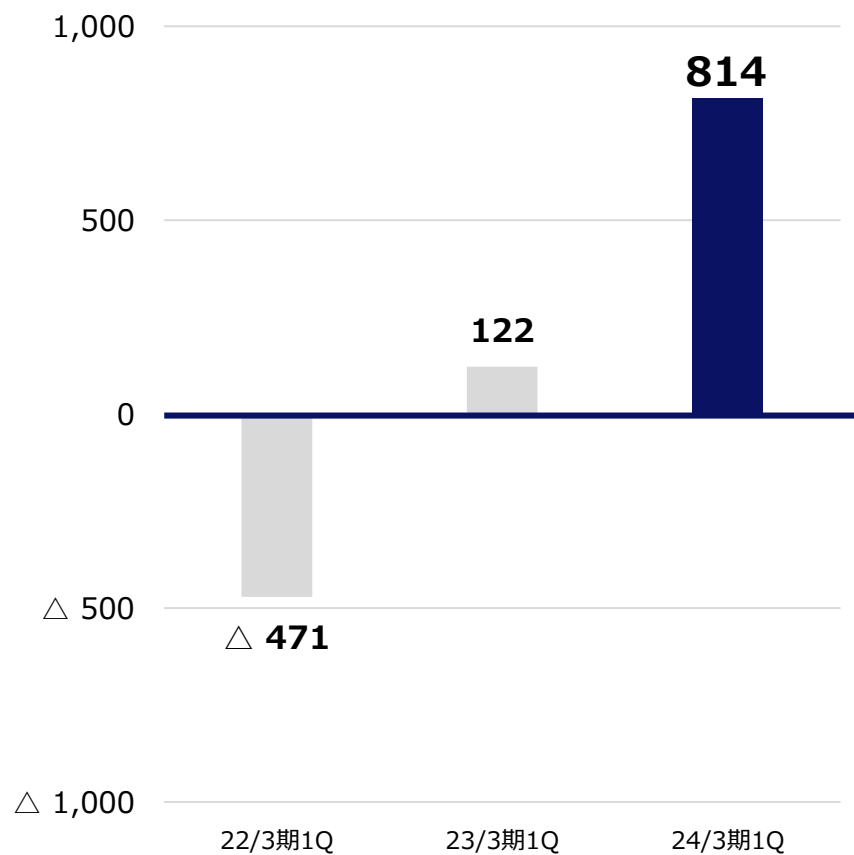


連結業績推移(四半期売上高推移)

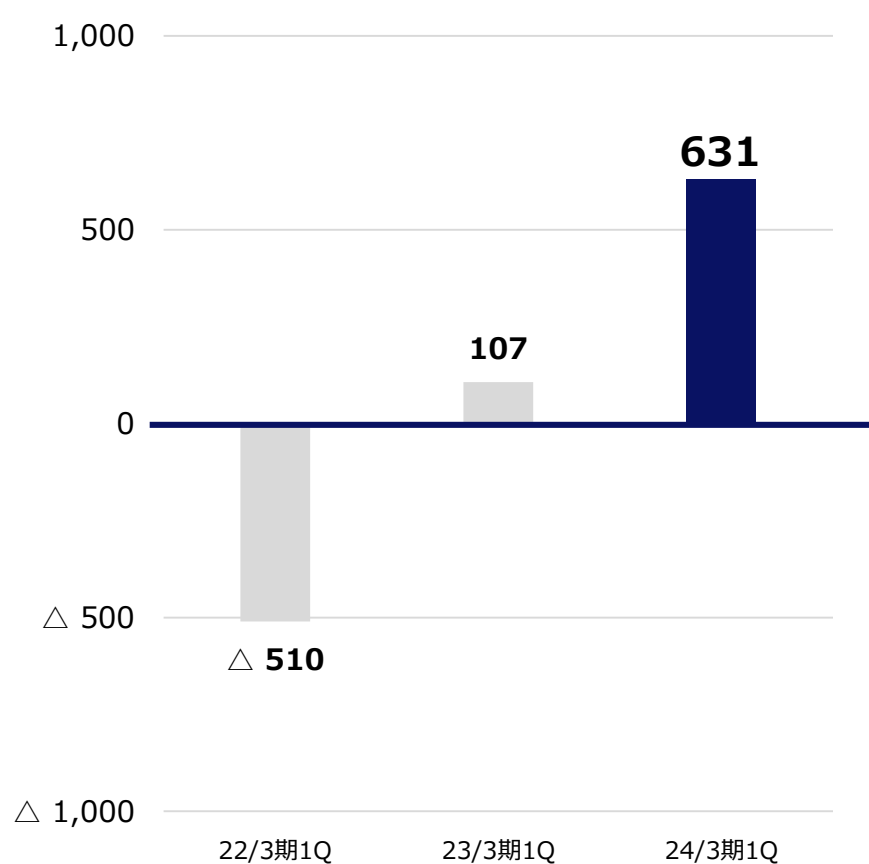


(単位：百万円)

経常利益



親会社株主当期純利益



連結損益計算書

(単位：百万円)

	2023年3月期 第1四半期		2024年3月期 第1四半期		前年同期比	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
売上高	11,685	100.0%	13,076	100.0%	1,390	11.9%
売上原価	10,087	86.3%	10,749	82.2%	661	6.6%
売上総利益	1,598	13.7%	2,327	17.8%	728	45.6%
販管費	1,919	16.4%	2,137	16.3%	217	11.4%
営業利益	△ 320	△2.7%	190	1.5%	510	-
営業外損益	442	3.8%	624	4.8%	181	41.0%
経常利益	122	1.0%	814	6.2%	692	566.0%
特別損益	0	0.0%	0	0.0%	0	-
税前利益	122	1.0%	814	6.2%	692	566.0%
法人税等	15	0.1%	191	1.5%	176	1161.5%
非支配株主当期純利益	0	0.0%	△ 8	△0.1%	△ 8	-
親会社株主当期純利益	107	0.9%	631	4.8%	523	487.4%

✓ 売上原価率の改善

86.3% → 82.2%(+4.1ポイント)

資材価格は高止まりしているものの、中期経営計画にて掲げた施策効果もあり原価率改善

✓ 営業外損益の増加

442百万円 → 624百万円(+181百万円)

円安による為替差益および賃料収入(ホテルの収益性向上)などにより増加

連結貸借対照表

(単位：百万円)

		2023年3月期		2024年3月期 第1四半期		前期末比
		金額	比率	金額	比率	増減額
資産の部	流動資産					
	手許資金	19,977	20.2%	21,892	22.0%	1,915
	売上債権	25,060	25.4%	22,094	22.2%	△ 2,966
	棚卸資産	31,583	32.0%	32,816	33.0%	1,233
	その他	△ 948	△1.0%	△ 544	△0.5%	404
	流動資産計	75,672	76.6%	76,259	76.6%	586
	固定資産					
有形固定資産	19,131	19.4%	18,997	19.1%	△ 134	
無形固定資産	414	0.4%	484	0.5%	69	
投資その他の資産	3,580	3.6%	3,759	3.8%	178	
固定資産計	23,126	23.4%	23,240	23.4%	113	
資産合計		98,799	100.0%	99,499	100.0%	700
負債・純資産の部	負債					
	仕入債務	13,942	14.1%	14,813	14.9%	870
	有利子負債	34,454	34.9%	32,955	33.1%	△ 1,498
	その他	3,495	3.5%	4,780	4.8%	1,284
	負債計	51,893	52.5%	52,549	52.8%	656
	純資産					
	利益剰余金	30,781	31.2%	30,434	30.6%	△ 347
評価換算差額等	4,901	5.0%	5,285	5.3%	383	
その他	11,223	11.4%	11,230	11.3%	7	
純資産計	46,906	47.5%	46,950	47.2%	43	
負債・純資産計		98,799	100.0%	99,499	100.0%	700

✓ **売上債権の減少(△2,966)**
25,060百万円 → 22,094百万円
回転期間は横ばい 159日→154.2日

✓ **棚卸資産の増加(+1,233)**
31,583百万円 → 32,816百万円
増産に伴い増加
回転期間 200.4日→229日

✓ **仕入れ債務の増加(+870)**
増産に伴い増加

✓ **運転資本の改善**
42,701百万円 → 40,097百万円
受注残を踏まえた製造販売により
前期末から運転資本は改善

連結主要品目別売上高推移

海外売上高の復調

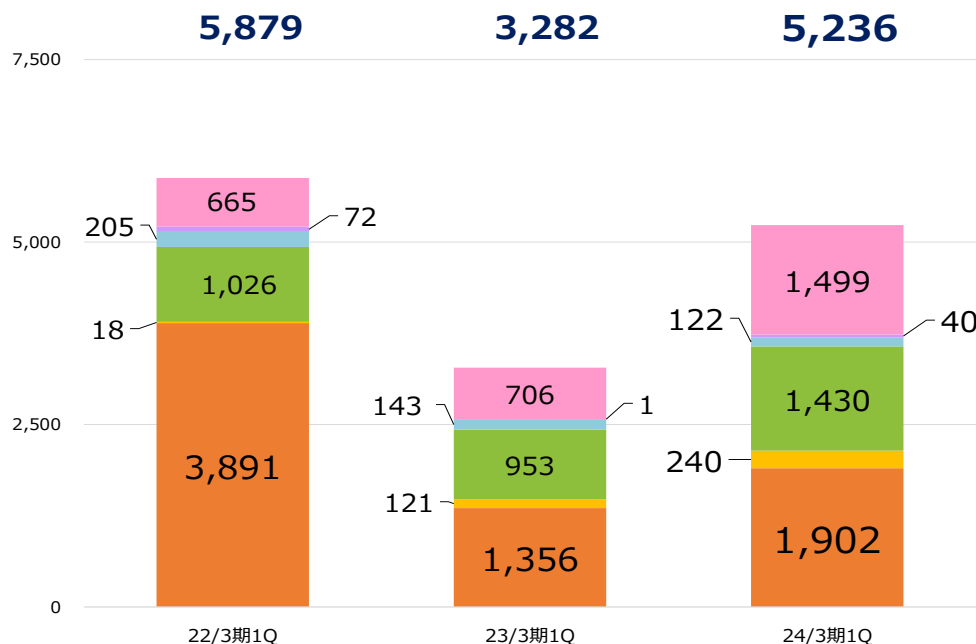
- ・海外の需要拡大を受け海外売上比率が40%まで回復
- ・油圧ショベル等の海外売上が欧州・北米の堅調な需要を受け増加

(単位：百万円)

	2022年3月期 第1四半期		2023年3月期 第1四半期		2024年3月期 第1四半期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
建設用クレーン								
国内売上高	5,444	37.1%	6,308	54.0%	6,195	47.4%	△ 112	△1.8%
海外売上高	1,911	13.0%	801	6.9%	1,629	12.5%	828	103.5%
計	7,356	50.1%	7,109	60.8%	7,825	59.8%	715	10.1%
油圧ショベル等								
国内売上高	3,066	20.9%	1,839	15.7%	1,482	11.3%	△ 357	△19.4%
海外売上高	3,967	27.0%	2,481	21.2%	3,578	27.4%	1,097	44.2%
計	7,033	47.9%	4,320	37.0%	5,060	38.7%	739	17.1%
その他								
国内売上高	288	2.0%	255	2.2%	162	1.2%	△ 92	△36.4%
海外売上高	0	0.0%	0	0.0%	27	0.2%	27	-
計	288	2.0%	256	2.2%	190	1.5%	△ 65	△25.6%
合計								
国内売上高合計	8,798	59.9%	8,403	71.9%	7,840	60.0%	△ 563	△6.7%
海外売上高合計	5,879	40.1%	3,282	28.1%	5,236	40.0%	1,953	59.5%
計	14,678	100.0%	11,685	100.0%	13,076	100.0%	1,390	11.9%

連結仕向地別売上高(日本除く)

(単位：百万円)



アジア(前年同期比+40.2%)
1,356 → 1,902(+545)
中国を除くその他の国での増加

欧州(前年同期比+50.0%)
953 → 1,430(+476)
堅調な需要に支えられ増加

米州(前年同期比+112.3%)
706 → 1,499(+793)
米国でのインフラ整備の
需要増に伴う増加

(単位：百万円)

	2022年3月期 第1四半期		2023年3月期 第1四半期		2024年3月期 第1四半期		前年同期比		総売上高構成比
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
アジア	3,891	66.2%	1,356	41.3%	1,902	36.3%	545	40.2%	14.5%
中近東	18	0.3%	121	3.7%	240	4.6%	118	98.0%	1.8%
欧州	1,026	17.5%	953	29.0%	1,430	27.3%	476	50.0%	10.9%
オセアニア	205	3.5%	143	4.4%	122	2.3%	△ 20	△14.2%	0.9%
アフリカ	72	1.2%	1	0.0%	40	0.8%	39	-	0.3%
北米・中南米	665	11.3%	706	21.5%	1,499	28.6%	793	112.3%	11.5%
海外売上高合計	5,879	100.0%	3,282	100.0%	5,236	100.0%	1,953	59.5%	40.0%

2024年3月期連結業績予想

✓ 今後の市場環境予測

<国内> コロナ禍からの経済活動正常化により、建設機械の需要は堅調に推移する見込み
<海外> 中国における厳しい事業環境は継続するものの、欧州・北米における一定の需要は継続する見込み

✓ 収益面でのリスク要因

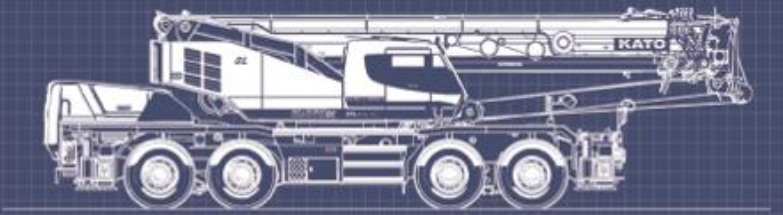
中国景気回復の遅れやウクライナ情勢の長期化に伴うエネルギーを始めとする原材料価格のさらなる高騰を収益の下振れリスクとして想定

2024年3月期連結業績予想(2023年5月公表)

当社グループでは、厳しい事業環境下でも安定した業績をあげるために、中期経営計画で掲げた各施策を遅滞なく推進し、以下の計画数値を達成してまいります

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期(予想)	
	金額	金額	増減率
売上高	57,530	60,500	5.2%
営業利益	1,258	1,200	△4.6%
経常利益	1,865	900	△51.7%
親会社株主当期純利益	2,403	2,000	△16.8%



TOPICS

TOPICS ①自動運転

KATO は、労働力不足の社会課題に挑みます。



空港制限区域内での路面清掃車自動運転実証実験を開始

(加藤製作所、新明工業、中部国際空港、日野自動車 合同)

滑走路や誘導路を含む空港制限区域における路面清掃車として、自動運転車日本初導入。自動運転(レベル 2 相当)※①に対応した小型トラックをベースに、自動運転と路面清掃の技術連携により高機能化させた路面清掃車(真空吸込式)を使用。

※① レベル 2 相当:ドライバーが周辺監視を行い、特定条件下での自動運転機能(高機能化)

KATO は、サステナブルな社会の実現に挑みます。

KATO

[トップページ](#)

[トップメッセージ](#)

[サステナビリティマネジメント](#)

[環境](#)

[社会](#)

[ガバナンス](#)

[サステナビリティ関連データ](#)

サステナビリティサイト 開設のお知らせ

サステナビリティ

■ SCROLL DOWN

ESG(環境・社会・ガバナンス)に関する活動状況やデータ等を随時更新していきます。



TOPICS ③ふるさと納税

KATO は、災害に対して出来ることを考えます。

当社が工場を操業する
茨城県五霞町にて
寄附額3.5億円の建設
機械5台セットを返礼品
に設定

実際に災害発生現場にて活躍した
製品を選定し早期の災害復旧活
動に繋がる返礼品を選定しており
ます。



KATO

災害復旧用建設機械



本資料に記載されている現在の計画や今後の見通しに関する内容につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて、計画・予想したものであります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。そのため、本資料におきましては、その実現を確約あるいは保証するものではありません。

お問合せ先

株式会社加藤製作所
コーポレートコミュニケーション部

〒140-0011 東京都品川区東大井1-9-37
E-Mail:ir-kato@kato-works.co.jp